

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

小児菊池病患者における血清 ALP 値低下に関する検討

[研究責任者]

岡山医療センター 小児科 樋口 洋介

[研究の背景]

菊池病の原因は不明であり、診断のためには外科的な処置を要するリンパ節生検が行われています。一方で菊池病は一般的に約 2 週間-2 か月間の発熱後、自然と解熱するため検査をせずとも自然治癒を待つという選択肢もあります。他の病気との区別を確実につけるためにはリンパ節生検が有用ですが、臨床的に菊池病が強く疑われる患者様については注意深く経過観察を行い自然と解熱することを待つということも選択肢となり得ます。したがって、菊池病の患者様の臨床経過や血液検査結果などの特徴を明らかにすることは有意義であると考えます。

[研究の目的]

本研究の目的は、菊池病および臨床的に菊池病が疑われる患者様の血清 ALP 値が低下している可能性について検討しその頻度・程度を明らかにすることです。また菊池病と同様に遷延する発熱と頸部リンパ節腫脹を認める疾患として伝染性単核球症の患者様についても血清 ALP 値を検討し、血清 ALP 値の変化が菊池病に特徴的な所見であるかどうかを検討いたします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2016 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日の間に当院で菊池病および伝染性単核球症と診断された患者様

●研究期間

研究実施許可日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

診断名、現病歴、既往歴、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、骨髄検査所見、リンパ節生検の病理所見）。

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。調査した情報は当施設で厳重に管理されかつ匿名化いたします。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター
小児科 医師 藤原 進太郎
電話 086-294-9911（代表）